【概要版】一級河川北上川水系　旧北上川圏域河川整備計画の変更について

宮城県

計画の目標

- ●計画対象期間　令和9年度からおおむね30年間
- ●計画対象区間　旧北上川圏域の5河川、延長約8.2km
- ●目標とする治水安全度　10年に1回程度起こると予想される洪水に対して被害の防止・軽減を図る

基本的な考え方

- 【治　　水】洪水から生命・財産を守る安全で安心な地域づくり
- 【利　　水】かんがい用水や生活用水等を安全に供給
- 【環　　境】多様な動植物が生息・生育する水辺の整備・保全
- 【維持管理】河川管理施設の適正な維持管理

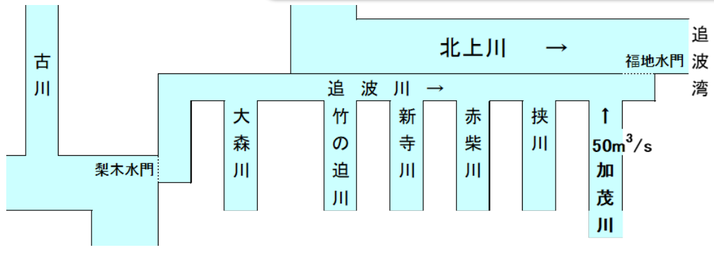
■現計画告示等年月
- H18.11　策定(H24.11、R8.3変更)　北上川水系河川整備基本方針
- H21.12　告示　旧北上川圏域河川整備計画

河川整備計画変更の経緯

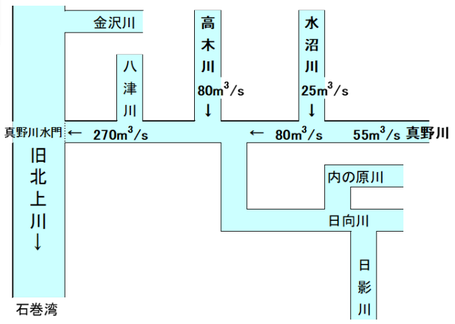
○平成18年11月に北上川水系河川整備基本方針を国土交通省にて策定（H24.11、R8.3変更）。
○平成21年10月に旧北上圏域河川整備計画を策定。
○計画策定以降、平成23年台風第15号、令和元年東日本台風などにより、護岸の被災等が発生し、被災した河川では、災害復旧事業を実施し、完了している。
○大森川では、堤防や護岸の被災は無かったが、溢水被害が発生した。溢水対策として大型土のうを設置しているが、改修は行われていない。
【大森川は、課題である河道断面不足や屈曲を解消する抜本的な河川改修が必要】

■整備計画目標の変更内容
【大森川】
河道断面不足や屈曲を解消する河道法線の変更、堤防整備（築堤）、河道掘削、合流点の処理を実施する。

現河川整備計画概要



追波川流域における河道配分流量



真野川流域における河道配分流量

治水

【目標】
10年に1度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対して被害の防止・軽減　を図る。計画規模を上回る洪水、及び整備途中段階での正接能力を上回る洪水等に対しては防災情報提供等のソフト対策の推進、危機管理強化を図る。
【整備内容】
・加茂川：堤防整備（引堤、築堤）、河道掘削
・真野川、水沼川：堤防整備（築堤）
・高木川：堤防整備（引堤）、河道掘削

利水

【目標】
圏域の流水の正常な機能を維持する。流況及び水質の維持、確保に努める。
【整備内容】
・流量、水質等の調査の継続・流水の利用　について、必要に応じて利水者間の調整を行う。
・関係機関と連携した水門等施設の適切な運用と管理に努める。

環境

【目標】
多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境を未来へ伝えるように努める。
【整備内容】
・河床幅をできるだけ確保し、澪筋の移動を許容した河川となるような整備の実施
・良好な河川水質を維持、保全のための定期的な水質調査の実施
・景観へ配慮し、既往の周辺環境と調和した整備の実施
・生態系への影響を踏まえた施工時期、施工方法の導入　・外来種の繁茂を防ぐ工法の導入

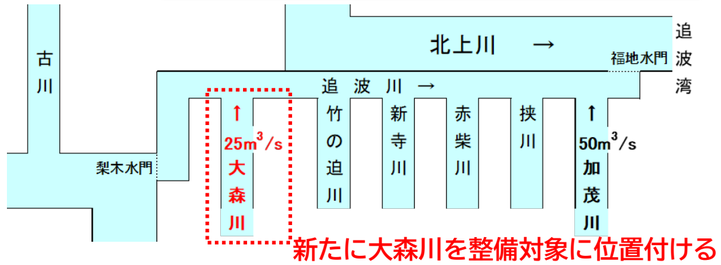
維持管理

【目標】
河川管理施設や周辺堤防が常に機能を発揮できるよう出水期前等に定期点検、調査を実施し状態を適切に評価し、必要に応じ補修を実施する。
【整備内容】
・堤防除草、清掃（河川愛護団体やスマイルサポーターとの連携）
・占用施設の適正な管理を目的とした占用者への指導
・河川巡視、堤防点検の実施
・支障木伐採、堆積土砂撤去の実施
・不法占用、不法投棄防止の注意喚起

変更（赤：変更箇所）

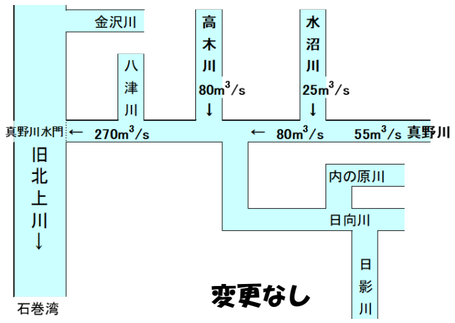
変更なし

河川整備計画変更案概要



新たに大森川を整備対象に位置付ける

追波川流域における河道配分流量

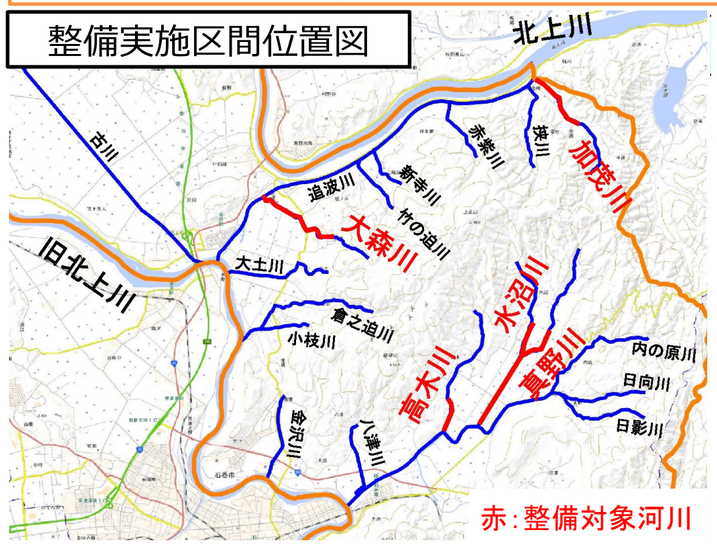


変更なし

真野川流域における河道配分流量

【目標】
10年に1度程度の降雨が発生した場合に想定される洪水に対して被害の防止・軽減　を図る。計画規模を上回る洪水、及び整備途中段階での正接能力を上回る洪水等に対しては防災情報提供等のソフト対策の推進、危機管理強化を図る。
【整備内容】
・加茂川：堤防整備（引堤、築堤）、河道掘削
・大森川：河道断面不足や屈曲を解消する河道法線の変更、堤防整備（築堤）、河道掘削、合流点の処理
・真野川、水沼川：堤防整備（築堤）
・高木川：堤防整備（引堤）、河道掘削

整備実施区間位置図



赤：整備対象河川

旧北上川圏域の整備対象河川は、一級河川北上川水系の加茂川、大森川、真野川、水沼川、高木川の５河川となる。